

# ロベール・ドアノーと 時代の肖像 —— 喜びは永遠に残る

アルベルト・ジャコメッティ ■ パブロ・ピカソ ■ ■ ジャン・コクトー ■ イヴ・サン＝ローラン  
■ ■ ■ ベルナール・ビュフェ ■ ■ フェルナン・レジェ ■ ■ レイモン・クノー ■ ■ ■  
ジョルジュ・シムノン ■ ■ ■ クリスチャン・ディオール ■ ■ セルジュ・リファール ■ ■ 他

写真：《イヴ・サン＝ローラン》、1964年6月5日 ©Atelier Robert Doisneau/Contact

## ベルナール・ビュフェ美術館

〒411-0931 静岡県長泉町東野クレマチスの丘 515-57

TEL : 055-986-1300 FAX : 055-987-5511

URL : <http://www.buffet-museum.jp>

会期 : 2016年9月15日(木) - 2017年1月17日(火)

開館時間 : 9・10月 10:00-17:00 11・12・1月 10:00-16:30 (入館は閉館の30分前まで)

休館日 : 水曜日 (祝日の場合は翌日休、ただし2016年12月26日[月]-2017年1月6日[金]は休館)

入館料 : 大人 : 1000円 (900円) / 高・大学生 : 500円 (400円) / 中学生以下 : 無料

\* ( ) 内は20名様以上の団体割引料金

主催 : ベルナール・ビュフェ美術館

企画 : コンタクト

協力 : アトリエ・ロベール・ドアノー

# 1 ドアノーが手がけた 「時代の肖像」



写真上：《アトリエのアルベルト・ジャコメッティ》、パリ、1957年  
写真下左：《「ドゥ・マゴ」のシモーヌ・ド・ボーヴォワール》、1944年  
写真下右：《ピカソのパン》、ヴァロリス、1952年

©Atelier Robert Doisneau/Contact

本展では、画家、彫刻家はもとより、パリが「芸術の都」であった時代に活躍した作家、思想家、舞踊家、美術批評家、デザイナーなどあらゆる分野の「時代の肖像」約70点を展示。未公開作品を含むこれらのポートレイトを通して、当時の文化的背景を探ると同時に、ドアノーによる写真表現の真髓を紹介します。



## 2 ドアノー写真を代表 する 名作たち



生涯を通じて約45万点にも及ぶ写真を撮影したドアノーの作品は、現在、遺族が設立したアトリエ・ロベール・ドアノーで管理されています。本展では、アトリエ・ロベール・ドアノーが膨大な作品から精選した代表作30点を展示。写真史にドアノーの名を刻ませた珠玉の名作から、ポートレイトの名手ドアノーの制作背景に迫ります。

## 3 もう一つのポートレイト、 ジオノへのオマージュ

パリ郊外で生まれ育ち灰色の青春時代を送ったドアノーにとって、小説家ジャン・ジオノがプロヴァンスの自然の中で描き出す人間たちのドラマは常に憧憬の対象でした。1958年に撮影された一人の羊飼いを追ったルポルタージュ『ある羊飼いの物語』は、ジオノへのオマージュともいえる作品です。生前、ジオノとの邂逅がついになわなかったドアノーにとって、この羊飼いの物語はジオノのポートレイトでもあるのかもしれません。ベルナール・ピュフェもまた、ジオノ著『純粹の探究』に深く共鳴し、ジオノの肖像画を描きました。本展では、二人の若い作家たちの人生と制作に多大な示唆を与えたジオノの肖像として、このシリーズを展示します。



写真上：《パリ市庁舎前のキス》、1950年 写真下：《野営》、1958年7月

©Atelier Robert Doisneau/Contact

**開催趣旨：**

日常の小さなドラマを絶妙にとらえ、「イメージの釣り人」と評されるフランスの国民的写真家ロベール・ドアノー（1912-1994）。パリの恋人たちや子どもたちの豊かな表情、ユーモアや風刺の効いた街頭の一場面など、人間に対する無限の愛情と好奇心に満ちたドアノーがとらえた写真は、時代を超えて世界中で愛され続けています。写真家ロベール・ドアノーを語る上で欠かせない分野、それが「ポートレート」です。鋭い洞察力と観察眼に裏打ちされたドアノーによる芸術家のポートレート群は、ドアノー自身の「見る喜び」を見事に体現したものであります。

本展では、同時代を代表する人々を写したポートレートを中心に、精選されたドアノーの代表作など、未発表作品を含む約140点を一堂に展示します。ロベール・ドアノーの眼差しを通して提示される同時代人たちの肖像は、写真の本質でもある「見る喜び」とともに改めて創造の喜びを私たちに伝えてくれるに違いありません。

\*ベルナール・ビュフェ美術館制作の展覧会チラシから転載させていただいております。  
\*記載事項は2016年7月現在のものです。内容が変更になる場合もあります。

創造に多くの時間を割く人々に、写真を撮らせてほしいと頼む勇氣はなかった。美術史の本に名を連ねる巨匠にふさわしいのは、後光だけなのだから。それでも、私の背中を押し、て彼らのアトリエへ送り込んでくれる人たちがいたのだ。  
ロベール・ドアノー

**ロベール・ドアノー プロフィール：**

1912年、パリ郊外ヴァル・ド・マルヌ県ジャンティイ生まれ。石版工の技術取得のためパリのエコール・エスティエンヌで学んだ後、写真家アンドレ・ヴィニョーの助手となる。1934年、ルノー社に産業カメラマンとして入社。1939年、フリーとして活動を開始。パリを中心に庶民の日常をとらえた写真で高い評価を得、現在でも世界中で愛され続けている。

1951年には、ニューヨーク近代美術館で開催された《5人のフランス人写真家》展の出品作家に選ばれる。1992年、オックスフォード近代美術館で大回顧展を開催。1994年没(享年82歳)。ニエプス賞(1956年)、フランス写真大賞(1983年)など受賞多数。

**本件に関するお問い合わせ：**

株式会社コンタクト 担当：佐藤正子

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 3-59-8-503

TEL：03-3405-5081 FAX：03-3405-5082

E-Mail [info.contact.tokyo@gmail.com](mailto:info.contact.tokyo@gmail.com) U R L <http://www.contact-tokyo.com>

**Facebook をリニューアルいたしました！**

**アトリエ・ロベール・ドアノー HP(フランス語、英語)：**

The website of Atelier Robert Doisneau (French, English)

<http://www.robert-doisneau.com>

コンタクトでは、2013年の創立以来、写真展を中心とした、展覧会の企画制作をさせていただいております。また、フランスの写真家ロベール・ドアノーの作品を管理する、アトリエ・ロベール・ドアノーと、日本・韓国での著作権代理業務について独占契約を締結し、さまざまなメディアにドアノー作品を提供しております。